

# 中原通信

文責 増永 善久

夏休み

## 夏休みを前に

全学年複式学級としてはじまった今年度です。第1ステージは、万博研修・修学旅行・集団宿泊教室など他校と連携した大きな行事があり、特に5・6年生は慌ただしい日々だったと思います。しかし、子どもたちは昨年同様、意欲的に授業やさまざまな行事に取り組んでくれました。ふだんの学校生活や大きな行事などで子どもたちは、新しい自分や友だちの知らなかった良さなどを見つけることはできたでしょうか。第1ステージの生活がそれぞれの成長につながってくれていたらと思います。

明日〔7月19日(土)〕から8月25日(月)まで、夏休みです。夏休み前の集会で、より良い社会になるためには、本校で取り組んでいる「3つのする(あいさつする・仲良くする・感謝する)」が生活の土台であることについて、子どもたちに話をしました。夏休みも自立した生活につながるために、この3つのするを大切にしてほしいです。また、夏休みは時間があるので、子どもたちにいろんな出会いも大切にしてほしいとも思っています。本との出会いもいでしょう、地域の活動に参加するのもいでしょう、何かに出会い自分の見聞を広げてほしいと思います。人や社会、本との出会いを大切に、様々な価値にふれ、豊かな感性を持った人へと成長してもらいたいです。

ただ、夏休みに心配なこともあります。夏休みは情報通信機器に触れることも増えるのではないのでしょうか。情報通信機器は子どもたちの学びの場を広げる有効な面もありますが、使い方を誤れば様々なトラブルに巻き込まれる可能性もあります。例えば、7月4日に実施した「SNS講話」で小国警察署の方からありました「使いすぎによる生活リズムの乱れ」「悪口を書き込むなどのネット上でのいじめ」「勝手に写真や動画をネット上にあげるなど個人情報の流失」など、便利なはずの機器が子どもたちに悪影響を及ぼすことがあります。特に夏休みに入り、家庭でタブレットやスマホ等の通信機器を使う時間も増えることが予想されます。今一度、通信機器の使い方について、ご家庭でも子どもたちと話をさせていただきますようお願いいたします。



万博研修



修学旅行



集団宿泊教室

## 学校行事より

### ◎建設業体験

町内の3小学校の6年生を対象に、7月2日、町と町建設業協会の協力のもと、今年度はじめて建設業体験が行われました。建設業の役割や職種について学んだあと、実際に「タイヤローダー」「バックホー」などの重機の操縦体験をしました。子どもたちは、生活をよりよいものにしてくれたり、災害からの復旧に取り組んでくれたりするなど、自分たちの生活を支えてくれる建設業について、理解を深めていました。



### ◎里山体験

7月11日、天候にも恵まれ、町内3小学校の4年生を対象とした里山自然体験活動『きよらわくわくキャンプ』が、「ごんべえ村」を中心に実施されました。主な体験活動は、みどりあふれる中での地域探検五感ゲーム、立岩水源での沢登り体験、アウトドアクッキング体験でした。子どもたちは、実際に体験することで南小国の大自然の素晴らしさや溪流の冷たさ・流れの速さなどを五感で感じていました。具体的な実体験をよりどころとして、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ、どうして」と考えを深める中で、子どもたちは、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでいきます。南小国町では、体験活動が本当に充実しており、ありがたいと改めて感謝する次第です。



※第1ステージが終わりました。様々な学校活動へのご理解とご協力ありがとうございました。夏休み、第2ステージもよろしくお願いいたします。